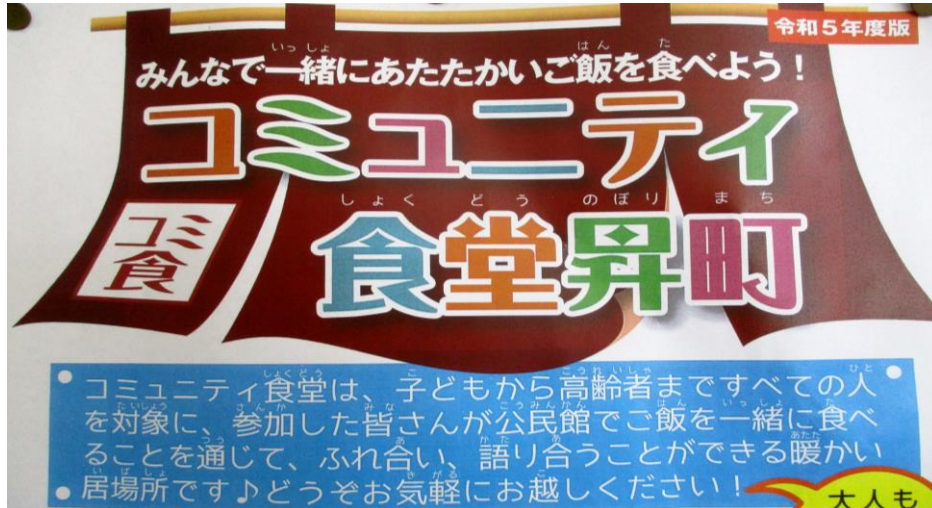




えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.4
令和5年5月30日
文責：校長 福島

つながるコミ食



先週金曜日のことです。放課後に校長室裏花壇のひまわりに水やりをしていました。遊びに来ている子供たちがいつも話しかけてきます。私にとって子供と触れ合ういい時間になっています。5年生の子が話しかけてきました。「校長先生は休みの日に何をやっているんですか。」「午前中は走っていることが多いかな。明日は仕事の会議があります。」「明日コミ食がありますよ。」「そうなんだ。ちょうどスポーツセンターで会議があるから行ってみようかな。」「校長先生が行くなら僕も行きます。何時ごろ行きますか。」「11時半ぐらいです。」「わかりました。」「うれしいこと言ってくれるなあと思いながら水やりを続けました。

翌日、会議が終わってコミ食に行きました。「校長先生こんにちは。」たくさんの子供たちが来ています。いつも温かく迎えてくれる子供たちを見て、CSで目指す子供にしっかり育てていることを感じます。「こんにちは」食堂に行くと「あっ、校長先生!!」ちょっとびっくりしたと思いますがみんなとても温かい反応を返してくれました。「校長先生!」昨日話をした5年生が手を振っています。「ここ空いていますよ。」近くの子供たちともたくさん話をすることができました。

年配の方が話しかけに来られました。創立90周年の時にPTA役員をされていて、お子様が今PTA役員をしているということでした。親子2代でお世話になっています。「大変お世話になっています。ずっと春日小を支えていただいているんですね。」

1人の女性が来られました。その方は、私が担任していた教え子の妹でした。びっくりです。「私も当時のこと、覚えています。子供が入学して、とても心強く思っています。」「お姉さんにもよろしくお伝えください。」「はい。姉も喜ぶと思います。」

1時間弱のコミ食でしたが、子供たちや保護者、地域の方とたくさん話をして、いろんなつながりを感じることができました。温かい気持ちで帰路につきました。中学生を含め、ボランティアの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。また、行けるときに行こうと思います。